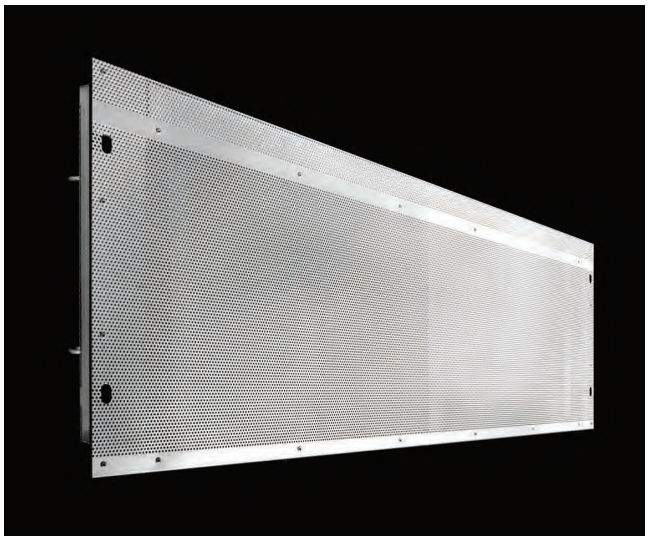
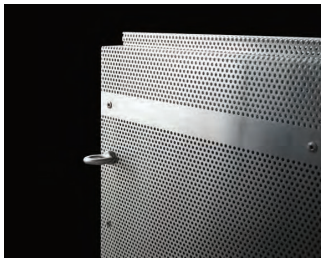
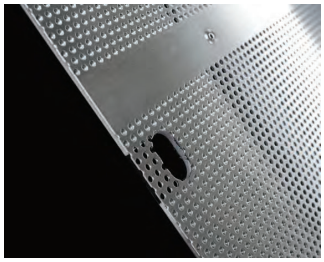
遮音壁先端用改良型減音装置

既存支柱の補強や改造が不要でそのまま取付可能に。小型・薄型で建築限界が厳しい箇所にも設置ができます。

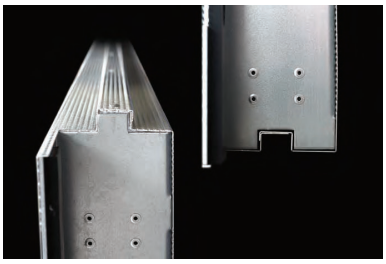


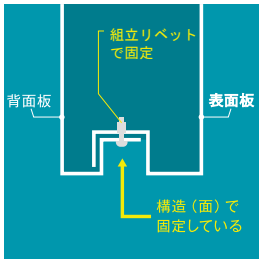




表面板の飛散を防止

新型裏面吸音板（3S型）で開発した嵌合構造（カギ構造）を応用することで経年劣化による表面板の飛散を完全に防止します。



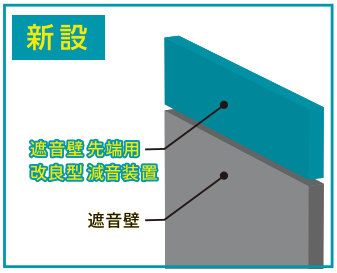


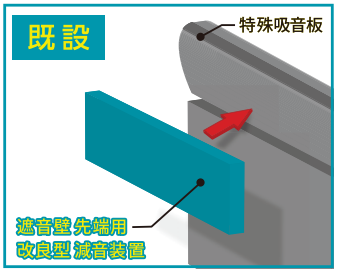
はみ出さない

既設の特殊吸音板と比べて小型・薄型化に成功しました。このため、建築限界の厳しい箇所や車両接触による損傷を受けやすい箇所への適用が可能です。

特殊吸音板と同等の性能

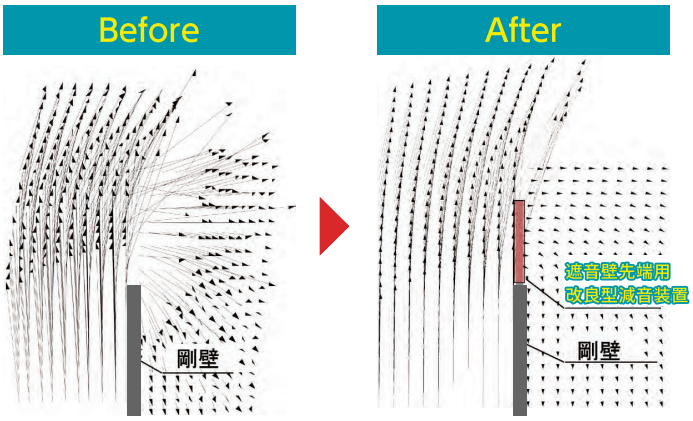
エッジ効果抑制理論に基づいた減音装置です。特殊吸音板と同等の性能を有します。
さらに、遮音壁の支柱に対して補強や改造を行うことなく、既設の吸音パネルや特殊吸音板に代わり、そのまま取替が可能です。





エッジ効果とは

関西大学 河井康人教授が発見された遮音壁の頭頂部近傍で空気の粒子速度が非常に速くなる現象です。

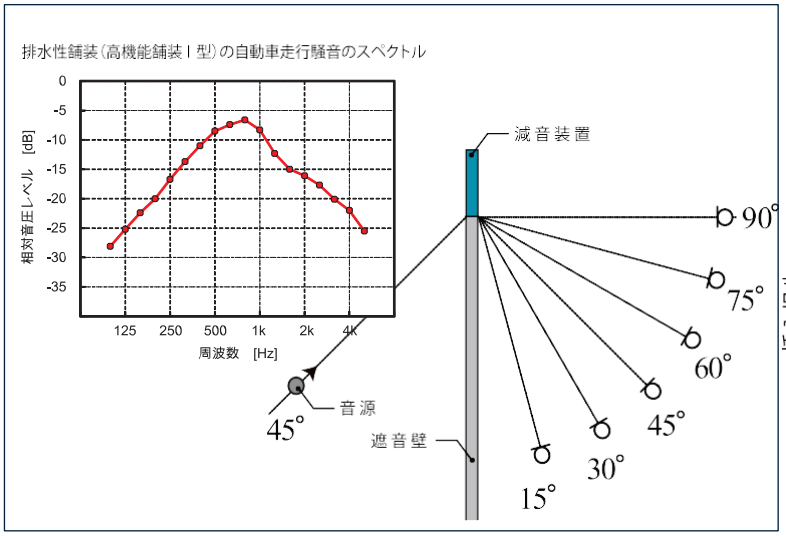


出典： Y.Kawai and M.Toyoda(Kansai University)."Sound insulation performance of edge-effectsuppression barriers". inter noise 2012, New York City. USA

首都高メンテナンス神奈川株式会社
maintenance 神奈川

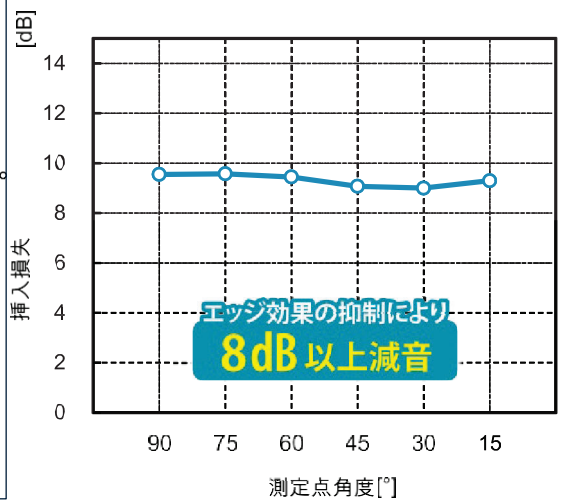
性能・効果について

遮音壁に減音装置を取り付けることで、自動車走行音に対して８dB以上の減音効果（挿入損失）があります。



【音源, 測定点, 遮音壁の配置】

【減音装置の挿入損失算出結果（道路交通騒音）】



測定：日本環境アメニティ株式会社竜ケ崎研究所
＊測定結果を基に、音源が自動車走行騒音となった場合を算出

主要材料・製品仕様

主要材料	製品仕様
正面板：アルミ板　A5052P	寸法：　厚さ93㎜×幅500㎜×長さ1,480㎜
枠材：　高耐候性メッキ鋼板	重量：　約17kg／枚
流れ抵抗調整材：　ポリエステルマット	

【特許第6370940号】

お問い合わせ

日本環境アメニティ株式会社
TEL：03-5421-7521（担当：鈴木）

アスゲッティ株式会社
TEL：046-223-2098（担当：田中）